



関わった仕事まちづくりに繋がっていく。
地域活性化を直接肌で感じながら、
自らの成長が実感できる仕事です。

事務職 文化観光部
スポーツ振興課
鈴木 里瑚 (すずきりこ)

令和3年度入庁

担当業務とやりがいについて教えてください。

入庁1年目から主に「瀬戸内倉敷ツーデーマーチ」の運営を担当しています。歴史あるこのイベントに携われることを誇りに思います。1年目は、コロナの影響で中止となりましたが、昨年度は4年ぶりに開催することができました。大会当日には参加者の皆様が倉敷の魅力に触れ、楽しそうに歩いている様子を見て、地域の活性化を直接肌で感じることができ、一番のやりがいを感じました。

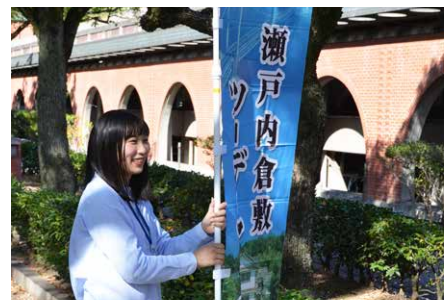


倉敷市で働くことの魅力をどう感じていますか。

自分の関わった仕事まちづくりに繋がっていくことに魅力を感じています。仕事をする中で、苦戦することもちろんありますが、分からないことや判断が難しいことなどは上司や先輩職員が相談にのってくれるので、安心して業務に取り組みます。毎日刺激にあふれ、やり遂げていく仕事の中で自分の成長を実感しています。

就職前後のギャップについて教えてください。

市役所の業務と言えば、「窓口対応」というイメージが強くありましたが、想像以上に仕事の幅が広く、私の所属課では外部と連携を図りながら業務を遂行することが多いです。そのやり取りの中で、専門的な知識や多種多様な考え方、価値観と出合えるため、考えの幅の広がりにつながっています。また、若手職員でも自分の意見を伝えやすい風通しの良い職場だと思います。



倉敷市職員を目指す皆さんにメッセージをお願いします。

倉敷市には様々な業務があり、みなさんが学生時代に培った力や興味を持ったことを発揮できる環境が整っていると思います。是非、一緒に倉敷のよりよい未来を創り上げていきましょう。応援しています。